 トピックス	<p>「環境月間特集」 廃棄物を「素材に戻す視点」での リサイクル活動</p> <p>パイオニア(株)</p>
---	---

～事業所の中で発生する廃棄物を「資源ゴミ」として素材に戻す取組み～

パイオニア（株）川越事業所では数年前から廃棄物を「素材に戻す視点」でのリサイクル活動に取り組んでおります。具体的には廃棄物の「分別」を「徹底」し、その分別された物を「資源ゴミ」として専門業者に「有価物」として売却し、素材化する取組みを行っています。

2012 年度実績では、有価物の割合が「70.1% (t 単位)」であり、川越事業所から排出される廃棄物の約 7 割は有価物として素材に戻っているわけです。残り 3 割は「可燃リサイクル」「固形燃料」などになっていますが、更なる改善を現在進めています。

また、廃棄物処理費も有価物の割合が増える事により大幅に改善され、下記の通り収支の黒字化を達成できています。(3 年連続黒字)

※廃棄物処理収支：有価物（収入）－ 廃棄物処理費（支出）＝黒字（収支）
 経費削減にもつながり、素材化することにより環境にとってもよい活動となっています。

廃棄物の有価物化への具体的な取組み

- ①各職場から出るごみ袋に職場番号を記入(自部門で記入)
 →分別間違いがあった場合のフォローがしやすい。(写真参照)
- ②廃棄物集積場の表示に「売れる物」や「処理費発生」等を表示
 →廃棄物集積場にゴミを持ち込む社員に分かりやすい(写真参照)
- ③有価物買取業者の再開拓(他社比較や相見積、実勢価格の確認)
 →有価物化ルートの再構築
- ④異業種他社をベンチマーキング(自社の業種ではない企業)
 →廃棄物処理方法や有価物ルートの確認
- ⑤圧縮機導入により収集運搬費の削減及び圧縮をする⇒有価物化増
 →かさばるプラスチック系は体積を 1/4 にして置場を確保し、
 収集運搬費の大幅削減
- ⑥製造現場の分別協力によりプラスチック系の有価物化
 →ストレッチフィルム、ミラーマット等の有価物化(プレス後)

【各職場から出るゴミ袋に職場番号を記入】



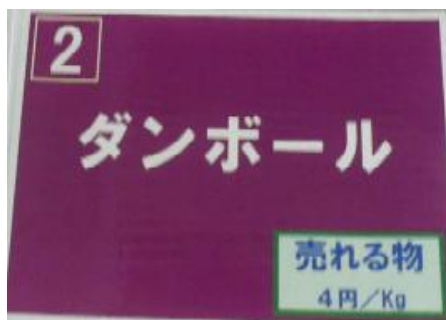
〔↑ゴミ袋に「32」と書いて
あります〕



〔→ 職場番号の一覧です。事業所を
46区画に分けています〕

【ゴミ集積場の表示】

〔有価物表示〕



〔有価物表示〕



※当初の表記は「有価物」でしたが分かりにくいとの意見もあり「売れる物」に変更

〔費用発生分は黄色で廃棄物表示〕



※表示の廃棄物処理費には、〔処理費+収集運搬費〕の合計で表示しています。